

単  
元  
名

～興味があることについて調べ、棒グラフに表そう～

## なんでもランキング

教科書出版社名 ( 教育出版 )

○ 小学校 ( 3 ) 年 教科等 ( 算数 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

身の回りの事象について棒グラフに表す力。

グラフから見つけたことを友だちに伝える力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

調べたい資料を探す力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…興味があることについて書かれている資料を見つけ、必要な情報を集める。

●整理・分析…集めた情報を棒グラフに表し、自分の考えを整理する。

●まとめ・表現・発信…棒グラフや自分の考察を交流しあう場を設定する。

○ 学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1時☆	学習する内容を知り、計画を立てる。 学習に必要な ICT 機器の操作方法を知る。
第2時☆ (本時)	資料をさがし、見つけたデータを棒グラフに表す。 棒グラフにして、気づいたことをまとめる。
第3時	調べて、わかったことの発表会をする。

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい

自分が調べたいことが載っている資料を見つける。

調べたことを棒グラフに表し、気づいたことをまとめる。

(本時 2 / 3 時)

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	<b>1. めあてを確認する。</b> ・先生の年齢別グラフを見本として提示し、グラフの書き方を確認する。	・棒グラフをかく際に気を付けることを思い出させる。
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">                         調べたことを棒グラフにしよう。                     </div> <b>2. 調べたいことが載っている本や資料を見つけ、ワークシートに記入する。</b> <b>結果をワークシートの棒グラフに表す。</b> ・教師が用意した課題例 (借りた本の冊数・図書室にある作者別の本の数・自分が読んだ本の仲間分け・本の登場人物や物語に出てくる動物の仲間分け・鉄道の長さ・国旗の仲間分けなど) ・児童が実際に取り組んだテーマ (日本の高い山ランキングと湖の深さランキング・簡単に作れそうなスイーツランキング・世界の人口ランキング・魚の重さランキング・知っている伝記など) 本などで調べてグラフにする児童の他に、教師や友だちにアンケートをとってグラフにする児童もいた。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;">                         ・たくさんある本や資料の中から、自分の課題にあったものを見つける。                          (児童はこれまでもテーマが決まった中での検索は経験があるが、今回はテーマを絞らないことで、実際の本や資料を探す活動に加え、図書室のパソコンで探す方法も知ることができる。)                     </div> ・一人で見つけられない児童には、思いを聞き取り、アドバイスをする。 ・指導者で用意をしたテーマを提示し、選択できるようにする。
5	<b>3. 次時の交流に向けて、発表の練習をする。</b>	・ワークシートが早くできた児童から発表の練習をするように指示をする。
5	<b>4. 本時の振り返りをする。</b>	・次時の活動の予告をし、活動の見通しを持てるようにする。

